

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23(9)	業務を優先してしまったり、利用者の気持ちの細かな変化に気付いていないことがあると感じる。	1日1回利用者とは話をする。	・1日1回は必ず利用者と一緒に過ごす時間を持つ。 ・利用者が思いを言える雰囲気作りを意識する。 ・希望や思いを聞き、実現可能であれば対応できるよう計画する。	3ヶ月
2	44(19)	食事の献立や食事環境を工夫し、提供するものは都度喜んで頂けることもあるが、利用者の希望を十分に聴き出せていない。	1か月に1回以上、いつもと違う食事の機会を提供する。	・外食やビュッフェ等の機会の提供を継続し、多様化を図る。 ・季節や地域の伝統食をつくる機会を持つ。また季節や場面に応じた食事環境、食器等見た目の楽しさを職員一人ひとりが意識し、利用者の食事に対する価値観を大切に、サービス提供できる。	3ヶ月
3	52・53(22)	家事活動以外で個人の趣味等の支援が十分に行えていない。利用者個人やグループでの支援が目的を明確でないこともあり、日常的となっていない。	5か月間に5回以上、趣味活動を提供する。	・個別や少人数グループでの買い物や見学、趣味的な図書館や美術館、観光施設等の活用を増やす。 ・お茶会の開催、麻雀、読書等一人で趣味に取り組める環境作り。	5ヶ月
4	26(10)	利用者の言葉が具体的かつ楽しい生活になる介護計画にしたい。	介護計画書の書式を変更する。	・計画書やモニタリングの見直し及び記録物の簡素化を図る。	3ヶ月
5	34	急変時や感染症の流行時期の利用者の高齢化に伴い体調不良となることも増え、対応への不安がある。	急変時や感染症に関する研修会及び勉強会を年に3回実施する。	・日常より感染症対策を行えるよう整備する。 ・急変時や感染症流行時期は事前に研修会や勉強会の内容を職員からも募り、実施する。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。